



活動資金支援者に感謝を込めて

16個人、21法人を表彰



三村支部長と記念写真に納まる受章者

3月26日、赤十字活動資金功労表彰伝達式を青森市のホテル青森において、開催しました。伝達式には、令和2年度中に青森県支部へ活動資金を寄せられた個人、法人が出席し、三村申吾支部長から、日本赤十字社の表彰規則に基づく金色・銀色有功章、日赤社長感謝状ならびに国の表彰となる厚生労働大臣感謝状が一人ひとりに手渡されました。

■金色有功章

個人
氣田憲二(十和田市)、氣田正和(十和田市)、成田則正(大鰐町)、蛭沢勝男(東北町) 以上4名
法人
(有)オクト(青森市)、フジプラント(株)(弘前市)、(有)滝田板金店(南部町) 以上3社

■銀色有功章

個人
高杉高吉(青森市)、小柳紀八郎(弘前市)、根津伸介(八戸市)、大山展毅(十和田市)、後藤美智子(鱈ヶ沢町)、佐藤ナナ子(鱈ヶ沢町) 以上6名
法人
(株)トヨタレンタリース青森(青森市)、社会医療法人松平病院(八戸市)、南部電機(株)(八戸市)、(有)エンゼル薬局(八戸市)、(株)ザックス(六ヶ所村)、(株)JPOWERハイテック大間事業所(大間町)、(株)竹林紙管八戸工場(おいらせ町) 以上7社

■日本赤十字社社長感謝状

個人
神勲(青森市)、氣田福俊(十和田市)、氣田幸子(十和田市)、中野渡悟(十和田市) 以上4名
法人
青森三菱電機機器販売(株)(青森市)、一般社団法人慈恵会(青森市)、金八神漁網(株)(青森市)、盛運輸(株)(青森市)、(株)兼建興業(弘前市)、(株)丸昌工藤商店(八戸市)、東北グリーンターミナル(株)(八戸市)、穂積建設工業(株)(八戸市)、(株)ミワ電工(五所川原市)、青森リース(株)(十和田市)、(株)ニッ森商店(むつ市) 以上11社

■厚生労働大臣感謝状

神勲(青森市)、成田則正(大鰐町) 以上2名

コロナ禍における優しさ 思いやりについて考える 青少年赤十字スタディー・プログラムを開催



オンラインで交流する全国の青少年赤十字高校生メンバー

参加したメンバーからは、「オンラインでも積極的にコミュニケーションをとることができた」「今回経験したことを部員や地区のメンバーと共有し、今後の活動に生かしていきたい」と感想が寄せられました。

3月20日、スタディー・プログラム(日本赤十字主催)を開催し、県内各地区から選出された高等学校の青少年赤十字メンバー4名と指導者1名が参加しました。本来、青少年赤十字活動は、人と人との触れ合いにより思いやりの心をつくるという「集団生活」に重点をおいた活動ですが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会等の開催が困難となりました。そのため、従来集合型の研修である青少年赤十字スタディー・センター(日赤本社主催)に代わり、全国の青少年赤十字メンバーと共に学びを深めることができるオンラインの利点を活かした事業として開催しました。研修参加にあたり、青森県支部は、3月11日、15日の2日間、初のオンライン事前学習会を開催し、参加したメンバーからは、青少年赤十字の渾身ひろみ指導講師から国際人道法などを学び、知識と理解を深めました。また、事前課題のコロナ禍における青少年赤十字活動について、メンバー同士、積極的に意見交換をし、本番に向けた準備をしました。本番当日、メンバーは青森県支部に集合し、全国各地から参加したメンバーとオンラインで交流しました。はじめに、指導スタッフから「新型コロナウイルス感染症と人道のこころ」と題した講義が行われ、赤十字活動の根拠である「人道」について理解を深めました。その後、各ホームルームに分かれ、コロナ禍における諸問題や行動について「そのとき自分はどうのように行動したのか」「自分はどうのように行動すべきだったのか」など、青少年赤十字メンバーとして必要なことを話し合いました。

令和3年度赤十字会員増強・活動資金増収運動実施中!

赤十字を支えるあなたの“ちから” 赤十字会員の加入、活動資金(会費・寄付金)のご協力をお願いいたします。

はたちの献血キャンペーンを実施

～県内では延べ7,922名が善意の献血に協力～

毎年1月から2月の2か月にわたり、全国で展開している「はたちの献血」キャンペーン(厚生労働省、都道府県、日本赤十字社主催)は、献血者が減少しがちな冬場において、安全な血液製剤の安定供給を目的に、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く献血に関する理解と協力を呼びかけています。

今年は、「いのちにとどけ、チャンスは今だっ」をキャンペーンメッセージに掲げ、キャンペーンを実施しました。

キャンペーン期間中は、献血ルーム(青森市、弘前市)や青森県内の各市町村を巡回する献血バスにおいて、延べ7,922名(うち10～20代は、1,472名)の方々が献血への協力をいただき、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者の尊いいのちを救うため、青森県内の医療機関へ届けられました。

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルスの影響もあり、安定した献血協力が依然厳しい状況にあることから、青森県赤十字血液センターでは、ホームページや公式SNSアカウントで献血にかかる情報を積極的に発信しています。

献血に関するお問合せは、
青森県赤十字血液センター(TEL 017-741-1512)まで



YouTubeで献血を呼びかける血液センター職員



YouTubeチャンネル開設しました

ボランティア活動充実に向けた研究会を開催

～ニーズとシーズ(技術)のマッチングを意識～

3月10日、日本赤十字社本社と各都道府県支部をオンラインで繋ぎ、ボランティア活動充実に向けた研究会(日赤本社主催)が開催されました。青森県支部からは、赤十字奉仕団青森県支部委員会の小野慶子副委員長、奉仕団指導講師の工藤耕弘、湯沢富雄 両指導講師、支部職員の4名が参加しました。

研究会では、広島県支部指導講師の朝野千明氏が講師を務め、「本社主催のリーダー研修を予習する」と題し、赤十字ボランティアの基本的な活動、被災地での実体験などを交えたボランティア活動の進め方や現場でのリーダーシップの取り方などについて、講話が行われました。

その後行われたグループワークでは、地域・年代を問わず意見交換をする場が設けられ、参加者は共通の課題について話し合ったり、参考となる取り組みについて質問し合ったりするなど、今後の活動を踏まえた積極的な意見交換が行われました。

参加者からは、「取り組んでいる活動のニーズを再確認しようと思った」「団員が持っているシーズを活用した活動を積極的に行い、新規団員の確保に繋げたい」など、今後の活動への抱負が寄せられました。



#あなたの備えがみんなの備えにキャンペーン

～たくさんのご参加ありがとうございました～

キャンペーン期間中、258,491件のツイート・リツイートをしていただきました。おかげさまで、日本全国多くの方々に「災害への備え」について考えるきっかけを提供することができました。

また、全国の賛同企業様からは、21,031,500円のご寄付をいただきました。

皆様のツイート・リツイートのうち、同金額を上限寄付額として、日本赤十字社の防災・減災をはじめとする活動に活用させていただきます。

引き続き、日本赤十字社の活動にご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

みんなのツイート(災害の備え)を見て学んだり、防災・減災への家庭での必要な備えをチェックしよう! 詳しくは、特設WEBサイトをご覧ください。

<http://campaign.jrc.or.jp/bousai/>



災害救護演習を八戸赤十字病院において開催

～赤十字看護師としての自覚をあらたに～

八戸赤十字病院では、入職後3年を経過する看護師を対象に、救護員としての赤十字看護師として登録・任命するために必要な知識や技術、態度を習得させることを目的に、毎年「救護員として赤十字看護師研修」を実施しています。

同研修では、「赤十字概論」「災害看護論」「日本赤十字社救急法」及び「こころのケア」の4科目が研修科目として設けられています。

2月11日、「災害看護論」の総まとめとして「災害救護演習2020」が新型コロナウイルス感染予防に配慮した内容で実施され、10名の看護師が参加しました。

演習では、天幕やフレーム一体式急速展開シールドターテント「DRASH」(ドラッシュ)の展開・撤収、救護所の設営、担架による搬送訓練、業務用無線機を使用した通信訓練などが行われました。

演習に参加した看護師からは、「大規模化・頻発化する災害に対し、いつでも救護員として救護業務に従事できるよう、自己研鑽していきたい」「救護員としての赤十字看護師の立場と役割を理解することができた」などの感想が寄せられました。



院内に展開されたDRASH(ドラッシュ)

“知る、見る” 赤十字

～ホームページリニューアルのお知らせ～

この度、ホームページをリニューアルしましたので、お知らせいたします。

リニューアルに伴い、URLが変更になりましたのでブラウザの「ブックマーク」「お気に入り」などに登録されている場合は、新しいURLへの登録変更をお願いします。

これからも、引き続き内容の充実に向けてまいりますので、何卒お願い申し上げます。

【新しいURL】

<https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>



日本赤十字社青森県支部 検索

赤十字ネットワークニュース

現在受付中の国内災害義援金

現在受付中の国内災害義援金と受付期間は以下のとおりです。

- 令和3年島根県松江市大規模火災義援金
令和3年5月31日まで
- 令和3年2月福島県沖地震災害義援金
令和3年5月31日まで
- 令和2年7月豪雨災害義援金
令和4年3月31日まで
- 平成30年7月豪雨災害義援金
令和3年6月30日まで

新型コロナウイルス感染防止に伴う赤十字のアクション

日本赤十字社では、「人のいのちと健康を守る」という使命のもと、全国の赤十字施設を挙げて以下の取り組みを行っています。

新型コロナウイルス問題への対応

救護班の派遣
(クルーズ船、施設等)

感染予防啓発活動
(動画配信・パンフレット)

患者の受入
(感染症指定医療機関等として)

深刻な血液不足への対応

感染防止のための社内の取り組み

リモートワークの導入

消毒等衛生管理の徹底

WEB会議の積極活用

講習会・密接環境での
ボランティア活動の延期や中止

医療機関(赤十字病院)及び血液事業(献血)等は、通常どおり運営しています。
※ただし、施設によっては外来診療等を停止している場合があります。

私たちが直面している新型コロナウイルスへの取り組みをはじめ、台風や地震などの災害に備える赤十字の活動は、皆さまからの会費やご寄付で成り立っています。赤十字の活動資金にご協力ください。

詳しい活動については

🔍 日赤 🔍 検索

献血は“16～69歳まで可能です!”

※65～69歳までの方は、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります

献血ルーム ■全血献血/9:30～12:30、13:45～17:00
受付時間 ■成分献血/9:30～11:50、13:45～16:20

- 青森献血ルーム ☎️ 0120-649-489 青森市長島1丁目3番1号 日赤ビル4階
- 弘前献血ルーム「CoCoSA(ココサ)」 ☎️ 0120-768-489 弘前市駅前町8-1 大町タウンビル2階
- 青森県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>

